



行方市
NAMEGATA

に へ
式湖と大地のなめがた

議会だより

No.54

平成31年2月1日発行

発行者：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 編集：広報委員会



行方市消防出初式一斉放水（天王崎公園駐車場にて）

主な内容

平成30年
12月
定例会

- 第4回定例会
（あらかし、議案の説明、議決結果など）…………… 2～5 P
- 決算審査…………… 6～8 P
- 一般質問（7名の議員が登壇）…………… 9～12 P
- 委員会レポート（行政視察の報告）…………… 13～14 P
- 市民の声・お知らせ…………… 15 P
- 議会トピックス（議会日誌、傍聴案内等）…………… 16 P

第4回定例会のあらまし

12月定例会は、12月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。
本定例会では、市長から条例制定、条例改正、補正予算など18議案が提出され、議会運営委員会からは委員会条例改正の議案1件が提出されました。

議案は各常任委員会に、補正予算は予算特別委員会に付託の上、審査され、本会議においていずれも原案のとおり全会一致で可決されました。

また、一般質問には7名の議員が登壇し、市の方針等を質しました。

平成30年
12月定例会

債権管理条例を制定

行方市債権管理条例の制定

督促手数料を廃止し事務の効率化を図るとともに、市の債権の管理に関する事務について必要な事項を定めることにより、事務の一層の適正化を図り、公正かつ円滑な行財政運営に資することを目的として制定しました。

市長が提出した議案等

条例

制定

督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

収納事務の効率化を図るため、関係条例の整備に関する条例を制定し、税及び税外収入に係る督促手数料を廃止しました。

一部改正

行方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成30年人事院勧告及び茨城県人事委員会勧告に準じ、一般職の職員の給与水準の改定を行うとともに、宿日直手当の基礎額の見直しを行うため、所要の改正を行いました。
(主な改正内容)
・初任給、若年層は1,000円/その他は400円を基本に月額を引き上げました。
・勤勉手当を0.05月分引き上げ、期末勤勉手当を4.45月分とするもの(一般職員)。

行方市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び行方市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例

平成30年人事院勧告及び茨城県人事委員会勧告に伴う一般職の職員の給与改定に準じ、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定するため、所要の改正を行いました。
・期末手当3.30月分を3.35月分としました。

行方市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

学校教育法の一部を改正する法律が公布され、平成31年4月1日に施行されることに伴い、行方市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正しました。

行方市ふるさと応援寄附金基金条例の一部を改正する条例

ふるさと納税者の貢献意識の高揚とふるさと応援寄附金の寄附額の増加を図る観点から、寄附金の使途をより明確にしました。

(主な改正内容)

行方市ふるさと応援寄附金の使途として、新たに次の3事業を追加しました。

- ・情報発信事業
- ・水辺周辺整備事業
- ・定住移住促進事業

専決処分

平成30年度行方市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ96万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ167億4990万6千円とする。

第4回定例会の経過

12月4日(火)

【委員会】

議会運営委員会

【本会議】

開会、会期の決定、諸般の報告、議案の上程、提案理由の説明

6日(木)

【本会議】

一般質問(4議員)

【委員会】

議会運営委員会

7日(金)

【本会議】

一般質問(3議員)

11日(火)

【本会議】

議案質疑、委員会付託、予算特別委員会設置、委員の選任

【委員会】

予算特別委員会

12日(水)

【委員会】

総務委員会

14日(金)

【委員会】

経済建設委員会

17日(月)

【委員会】

予算特別委員会

20日(木)

【委員会】

議会運営委員会

【本会議】

常任委員長報告、質疑、討論、採決、予算特別委員長報告、質疑、討論、採決、追加議案の上程、提案理由の説明、質疑、委員会付託の省略、討論、採決、閉会中の所管事務調査、議員の派遣、閉会

6施設の指定管理者 の指定がされました

議案

高須崎公園、高須崎公園体験農場及び行方市高須崎交流センターの指定管理者の指定

・指定管理者

行方市玉造甲1234番地

一般財団法人

行方市開発公社

理事長 鈴木周也

・指定期間

平成31年4月1日から

平成36年3月31日まで



高須崎公園



あそう温泉「白帆の湯」

あそう温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市北浦荘の指定管理者の指定

・指定管理者

東京都千代田区外神田

2丁目18番8号

株式会社 共立メンテナンス

代表取締役社長

上田卓味

・指定期間

平成31年4月1日から

平成34年3月31日まで



行方市北浦荘



天王崎観光交流センター

議員が提出した議案等

議案

行方市議会委員会条例の一部を改正する条例

議員定数の削減に伴う構成員の減少に対応するため、教育厚生委員会、経済建設委員会の各常任委員会の定数を、7人から6人に変更するため所要の改正を行いました。

委員会

第4回定例会で付託された議案等について審査しました。

総務委員会

(12月12日)

議案第78号 行方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第79号 行方市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び行方市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例について

議案第80号 行方市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について

議案第81号 行方市債権管理条例の制定について

議案第82号 督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

議案第83号 行方市ふるさと応援寄附金基金条例の一部を改正する条例について

経済建設委員会

(12月14日)

議案第84号 高須崎公園、高須崎公園体験農場及び行方市高須崎交流センターの指定管理者の指定について

議案第85号 あそう温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市北浦荘の指定管理者の指定について

予算特別委員会

第4回定例会に提出された各補正予算は予算特別委員会が設置され、審査されました。(12月17日)

報告第18号 専決処分承認を求めることについて

(平成30年度行方市一般会計補正予算(第3号)について)

議案第86号 平成30年度行方市一般会計補正予算(第4号)について

議案第87号 平成30年度行方市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

議案第88号 平成30年度行方市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

議案第89号 平成30年度行方市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について

議案第90号 平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

議案第91号 平成30年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

議案第92号 平成30年度行方市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)について

議案第93号 平成30年度行方市水道事業会計補正予算(第1号)について

特別委員会

継続審査案件について特別委員会を開催しました。

行方市議会活性化特別委員会
(11月21日)
・行方市議会委員会条例について

～ 議会へ請願・陳情される方へ ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※ 請願書(陳情書)はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※ 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ※ 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名及び押印が必要です。
- ※ 紹介議員がつかないときは、陳情書としてください。
- ※ 道路等は簡単な地図、略図、図面等を付けてください。

(表紙例)

〇〇〇に関する請願 (陳情)書
紹介議員 署名 印

(内容例)

〇〇〇に関する請願 (陳情)
1. 要旨 2. 理由
平成 年 月 日 請願(陳情)者の住所 氏名 印 行方市議会議長 殿

平成30年第4回行方市議会定例会 議決結果一覧

《市長提出議案》

議案番号	件名	結果
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度行方市一般会計補正予算(第3号)について)	原案承認(全会一致)
議案第78号	行方市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第79号	行方市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び行方市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第80号	行方市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第81号	行方市債権管理条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第82号	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第83号	行方市ふるさと応援寄附金基金条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第84号	高須崎公園、高須崎公園体験農場及び行方市高須崎交流センターの指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案第85号	あそう温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市北浦荘の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)
議案第86号	平成30年度行方市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決(全会一致)
議案第87号	平成30年度行方市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第88号	平成30年度行方市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第89号	平成30年度行方市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決(全会一致)
議案第90号	平成30年度行方市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決(全会一致)
議案第91号	平成30年度行方市流域関連公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決(全会一致)
議案第92号	平成30年度行方市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第93号	平成30年度行方市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決(全会一致)
議案第94号	平成30年度行方市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決(全会一致)

《議員提出議案》

発議第5号	行方市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
-------	--------------------------	------------

今定例会で補正された予算(平成30年度)

会計別	補正額	総額
一般会計(第4号)	3億512万3,000円増額	170億5,502万9,000円
一般会計(第5号)	3,038万8,000円増額	170億8,541万7,000円
国民健康保険特別会計(第1号)	316万8,000円減額	49億7,183万2,000円
介護保険特別会計(第1号)	保険事業勘定	2,831万3,000円増額
	介護サービス事業勘定	114万4,000円増額
農業集落排水事業特別会計(第2号)	170万6,000円減額	3億6,304万4,000円
特定環境保全公共下水道事業特別会計(第3号)	59万5,000円減額	4億6,948万3,000円
流域関連公共下水道事業特別会計(第3号)	56万4,000円増額	3億6,853万5,000円
戸別浄化槽整備事業特別会計(第1号)	1,587万8,000円増額	1億5,487万8,000円
水道事業会計(第1号)	55万2,000円増額	9億1,305万2,000円

決算審査について

平成 29 年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、9 月定例会において予算決算特別委員会に付託されました。

審査は、9 月 18 日、19 日、20 日の3日間で行われました。

審査の結果については、9 月定例会にて9会計すべて認定されました。

決算審査は、市政全般にわたって、多くの質疑がありました。その中から、抜粋してお知らせいたします。

予算決算特別委員会

議長を除く 19 名の委員で構成され、特別委員長は、宮内 守 議員、特別副委員長は、岡田 晴雄 議員が互選されました。



一般会計

総務費

問 ふるさと応援寄附金募集事業の還元率は

答 総務省からの通達により還元率は事業者の利益分を除いて3割以内とされており、本市では3割以内となっています。

問 定住化促進事業の住宅取得補助金の実績は

答 定住応援助成金は、80 万 3 0 0 0 円支出しています。転居、U・イターンを含めて、23 件、87 名という実績です。

問 新交通システム導入委託料の利用者数は

答 デマンド型乗り合いタクシーの実績は、利用者数が 1 万 6 4 9 8 人、1 日当たり 68 人という状況です。また、利用するには会員登録が必要となり、登録者数は 4 1 8 4 名となっています。

問 霞ヶ浦ふれあいランド周辺施設整備事業の内容は

答 地方創生推進交付金を活用して、ボルダリングの施設整備と虹の塔の屋根防水改修工事等を行いました。

問 有機肥料供給センター整備改修事業の総事業費は

答 概算事業費は、29 年から 32 年の4年間で2億 4 9 4 8 万円を見込んでいます。29 年度の内容は、成熟槽と貯留槽等にある機器類(特注)の制作で、2 0 3 7 万 9 6 0 0 円です。



問 防犯カメラ設置工事の設置箇所は

答 麻生小学校、麻生東小学校、北浦中学校、玉造中学校、北浦幼稚園、玉造幼稚園に設置し、麻生中学校は増設しました。29 年度に7校に設置をしまして、全ての幼・小・中に設置が完了しました。

問 市内学校施設門扉フェンス等改修工事の内容は

答 玉造中学校の来客用駐車場入口が 6・15 歳と狭かったため 10 歳に拡張し、北浦中学校では、校舎に設置されている震災で動かなくなった電動シャッターを撤去して、手動式のシャッターにかえています。



問 玉造幼稚園遊戯室天井改修工事に 1 0 0 0 万円も要するのか

答 東日本大震災の影響で、建築基準法が改正され、遊戯室のつり天井は改修が必要となったために改修をしたものです。

民生費

問 福祉バス運転業務委託料が増額になっている理由と利用状況は

答 28年度までは1台の業務委託でしたが、2台とも業務委託をしたことにより増額となっています。利用状況は226回の利用がありました。

問 難病患者福祉見舞金が増額になったのは

答 市から見舞金として1人年間2万円を申請に基づいて支出しています。難病患者数は、今年の3月末現在で210人です。毎年申請が必要となりますが、少しずつ周知もされてきて申請者の数が増えてきたということです。

問 老人クラブ関係で3つの補助金があるが内容は

答 市単位老人クラブ補助金、会員数30人以上49人以下の15団体に對して、4万円の補助を行っているものです。

また、50人以上の8団体に對しては4万5000円の補助を行っています。こちらは県の補助対象にもなっており、2分の1が県からの補助となります。

市単独の市単位老人クラブ補助金は、会員数30人未満の31団体に3万4750円の補助を行っているものです。

市老人クラブ連合会補助金は、基本単価31万2000円に、会員1人につき52円を合わせて39万7400円を補助しているものです。

衛生費

問 子育てママ応援記念品とはどのようなものか

答 子育てママ応援記念品は、29年度から取り組んでい

る事業です。母子手帳を交付するときに、マル福と一緒に授乳服プレゼントのはがきを差し上げています。はがきを送っていただくと数種類から選んでいただいた授乳服等が届くこととなっています。1人当たり1万746円となります。

問 数種類の予防接種事業があるが各自治体によって違いがあるのか

答 国が指定するA類予防接種で乳児が受けるものは、ほとんどの自治体で行っています。市では、子どもの予防接種は、小児のインフルエンザ以外は全て無料で行っており、個人の負担はありません。また、法定外予防接種で、成人の風疹の予防接種に對する補助を行っています。対象としては、妊婦、妊婦の配偶者、これから妊娠をする可能性のある方となっています。

問 不妊治療費補助金がかなり多くなっているが

答 29年度は7人に延べ10回の補助で100万円を補助しています。前年度より増加した要因は1回の上限が28年度は5万円でしたが、29年度は10万円となりましたので、その差額分で増額となっています。

農林水産業費

問 水産振興事業の環境・生態系保全活動支援事業交付金とはどのような内容か

答 ヨシ帯の保全と生態系の調査を漁業協同組合へ依頼して事業を実施しているものです。



土木費

問 企業誘致活動費補助金、企業立地促進補助金の内容は

答 企業誘致活動費補助金は、行方市企業誘致促進協議会に對する補助です。企業誘致に對して協議をしている組織です。企業立地促進補助金は、行方市に立地しました企業に雇用促進補助として3年間補助をしているもので、29年が3年目で、270万円の補助をしています。

問 橋梁点検調査設計等業務委託料の状況は

答 市内の144橋のうち、29年度は64橋の点検を行っています。26年の道路法改正に伴って、新しい点検基準によって必ず近接目視もしくは打音等で点検をするという基準で行っている事業です。今回の64橋については、今のところ問題ないという点検結果となっています。

問 橋梁維持補修工事の内容と何橋行ったのか

答 24年度、25年度に点検を行い、その結果に基づき修繕工事を行っています。29年度は4橋の修繕工事を実施しています。



教育費

問 パソコン整備事業のタブレット端末を導入した効果は

答 小学校、中学校すべてにタブレット型の端末を導入しました。この端末を各教室に持ち込んで、いろいろな教科で使用しています。特に理科などは、図鑑がなくても調べることができることや、英語に

ついては、以前は特別なし教室がありました。そういった教室がなくてもタブレットを利用しながら学習できるなど、子どもたちが自ら学ぶというところに大変効果があると考えています。

問 教育相談事業の相談件数が増えているが状況は

答 29年度は、来所、電話の相談件数が776件です。増えた理由は、月曜から金曜日まで、8時30分から5時15分まで開設をしていることが要因になっています。また、相談内容は、子どもの不登校、いじめの問題等です。保護者の相談も受けるようになったため、保護者が抱える独自の悩みなども相談があります。

問 AEDリース料について、どこに設置されているのか、使用した事例はあるのか

答 小学校は、麻生小、麻生

東小、北浦小に各学校2台設置しています。玉造小学校は児童数が多いため、3台設置をしています。中学校は各学校に3台を設置しています。幼稚園は、各園に1台の設置です。なお、AEDが使用された事例は今のところ発生していません。



問 茨城国体選手強化支援事業の強化選手はどれくらいいるのか

答 茨城国体の強化選手は、中学生のハンドボールで28名、バスケットボール女子で4名、空手道が5名の合計37名です。また、団体の指定は、麻生高校の男子・女子ハンドボール、麻生高校の女子バスケットボール、各中学校のハンドボールと女子バスケットボールを指定しています。

国民健康保険特別会計

問 医療費適正化特別対策事業での効果は

答 レセプト点検専門員の点検での財政効果は、市では4名で2次点検を実施しており、財政効果額は1467万5660円になります。点検内容は、資格、検査、手術の内容点検、縦覧点検、横覧点検、柔道整復師、また介護給付情報と医療給付情報の突合による点検も行っています。

問 医療費、薬代の点検は

答 医療費適正化特別対策事業のレセプト点検の中で行っており。医療費、薬代が過剰に出ている場合には、過剰投与としてレセプトを返却し、その分の支払いもしません。

水道事業会計

問 水道の普及率は何パーセントになっているのか。また、県水の受水割合は

答 市の水道事業の普及率は94%です。29年度末の県水の受水割合は40%です。



問 洗管作業は年間どのくらいの距離を行っているか、費用はどのくらいかかるのか

答 洗管作業（水道管の中の水あか、さび等をとる作業）は、25年度から30年度まで実施してきています。年間で約3キロ行っています。費用は、単年度で500万から600万円ほどで、29年度は718万円を使用し洗浄しました。

市の考えを問います

一般質問

7名の議員が登壇し、市執行部に対し方針等を問いました（内容は要約して掲載しています）

12月6日（4議員）

小野瀬 忠利（一問一答）……9ページ

- 1 上水道事業における課題と今後の取り組みについて
- 2 防災対応型エリア放送について
- 3 子育て支援の充実について

土子 浩正（一括）……10ページ

- 1 公共交通による通勤、通学利用者の利便性向上について
- 2 契約制度について
- 3 指定管理者制度について

河野 俊雄（一問一答）……10ページ

- 1 行財政改革について
- 2 公共施設の維持管理について

阿部 孝太郎（一問一答）……11ページ

- 1 地域医療に関して
- 2 空き家空き地対策に関して

12月7日（3議員）

大原 功坪（一問一答）……11ページ

- 1 公園管理について
- 2 道路管理について
- 3 後期高齢者医療について

栗原 繁（一括）……12ページ

- 1 学校教育・新教育課程への移行
- 2 保健衛生について
- 3 霞ヶ浦の環境保全

小林 久（一括）……12ページ

- 1 新年度事業の取り組み
- 2 地方創生策

上水道事業における課題と今後の取り組みについて

問 水は市民生活において大切なライフラインである。人口減少に伴い、給水量は減少し、料金収入も減少するなか、老朽化による修繕費や水道管路の更新等の経費は増加し、供給単価を給水原価が上回っていて、給水に係る費用が水道料金による収入以外の収益によって賄われている現状があるが、今後の水道事業のあり方をどのように考えているのか

答 市長 平成29年3月に行方市水道ビジョンを策定し、「持続可能な公共インフラの整備」を成果目標とし、「いつでも安心して飲む、安全で信頼される水道」「いつまでも皆様の近くにあり続ける水道」を理想像とし、各事業に取り組んでいきます。



小野瀬 忠利 議員

答 水道課長 行方市の水道事業の経営健全化計画を進めており、今年度中には適正料金の算定が終了します。平成31年度に水道料金等の審議会等を立ち上げ、平成32年4月に新料金をスタートできるよう準備を進めていく予定です。

防災対応型エリア放送について

問 防災対応型エリアテレビの全世帯視聴に向けた取り組みについて

答 市長 視聴啓発とチャンネル設定の補助のため戸別訪問を継続させております。また、専用受信アンテナの設置も並行して進めています。

答 企画部長 行方縦貫道に沿ったエリア等の市内の中心部を中心に、エリア放送の許可出力最大である130ミリワットへの増強をはじめ、20カ所程度の置局増加等の見直しを行います。

その他、次の質問がありました。

- ・ 幼児教育・保育の質の向上について
- ・ 学校教育の地域と一体となった安定的な運営と教育レベルの向上に向けた取り組みについて



土子 浩正 議員

公共交通による通勤、通学 利用者の利便性向上について

問 現状の市営バスの利便性を向上させるためには、毎日利用する通勤、通学に利用できるように改善する必要があるのではないかと

答 市長 高校生が通学に利用できる運行ルートの新設や運行ダイヤの見直し、さらには市営路線バスと広域バスの連携を進めていきます。

答 企画部長 現計画期間が残り2年という期間の中で、スクールバスの活用やデマンドタクシーとの連携など、あらゆる可能性を模索しながら、持続可能な公共交通網の整備に取り組みます。

問 広域バスや、高速バスによる通勤、通学利用者を対象とした定期券購入の助成はできないか

答 企画部長 定住やU・I・ターンの促進を目的とした定期券購入

費用の一部を助成している自治体もあるが、本市では十分な検証を実施し判断していきたい。

契約制度について

問 工事、委託等の契約方法は

答 総務部長 公共工事の品質確保及び建設業の健全な発展に努め、入札及び契約事務の透明性、公平性、競争性の確保を図り、制度の適正な運用に努めます。

問 総合評価制度の導入は

答 総務部長 技術提案を求める特殊工事等を発注する機会があれば、要綱に基づき、採用を検討します。

指定管理者制度について

問 選定方針、選定方法は

答 総務部長 公募を原則とし、緊急を要する場合や施設の性格、設置目的、業務の特殊性、専門性、地域経済への影響等を勘案し、公募に適さない場合には非公募での候補者の選定を行っています。



河野 俊雄 議員

行財政改革について

問 ①5年後、10年後の財政見通しはどうか②平成31年度予算編成に当たって、新たに重点とされる施策はあるのかを伺う

答 市長 財政状況については、歳入面で、市税の堅調な伸びはありますが、普通交付税の減少が見込まれ、歳出面では、社会保障費、維持管理費、幼児教育無償化に対する経費などが増加すると予想されます。今後は、使用料・手数料等の見直しなど財源確保はもとより、歳出の抜本的な見直しを行い、長期的な視野に立った行財政運営を行っていきます。

答 総務部長 財政の健全化を図るため、事業の見直しについては、事業そのものを削減しなければなりません。特に、単独補助金は検証を行い、効果の薄いものは削減していきます。平成31年度の重点事業と

しては、子ども・子育て支援事業の予算の拡充と、地域医療対策として医師の確保策を予定しています。

公共施設の維持管理について

問 公共施設等総合管理計画（実施計画）の展開プログラムは何処まで進んでいるかを伺う

答 総務部長 平成30年3月に策定した公共施設の再編に向けた展開プログラムでは、新たな公共施設の整備が必要となった場合でも、既存施設を有効活用し、安全性に課題のある施設については、廃止を含めた検討をしていくことになっています。また、借地・借家で使用している施設は、今後の検証により、原則、廃止することなど、基本方針に則って進めていく必要があります。公共建築物は、161施設、総床面積で14万1000㎡あり、今後、40年間で必要とされる更新費用が約520億円、年平均13億円と推計され、現在の財政状況では多くの施設が更新できない計算になります。公共施設のあり方を検討し、市民の皆様との合意形成を図っていきます。

地域医療に関して

問 地域医療の現状は

答 市長 地域医療の中核を担うなめがた地域医療センターでは、土浦協同病院とのグループ化により連携が強化され、医師が派遣されるなど、医療提供体制の確立を目指した取り組みがなされています。今後も関係機関と連携し、大学等への寄附講座の設置等を活用しながら、医師確保等に努めていきます。

答 市民福祉部長 医療費ベ

スでは、国民健康保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計の医療費の総額は、平成27年度で87億6952万円、平成28年度で87億4951万円、平成29年度で89億6972万円となっており、高齢化や医療の高度化等に伴い、年々増加しています。



阿部 孝太郎 議員

問 プライマリ・ケアへの施策、展望は

答 市長 身体の状態だけではなく、心理的、社会的問題も含め、総合的かつ継続的な医療、いわゆるプライマリ・ケアを提供できる地域の開業医やかかりつけ医の存在が重要になります。1次医療であるプライマリ・ケアと2次、3次医療それぞれの役割や機能について、市民への理解を図ること、地域医療の充実・強化につなげていきたいと思っています。

空き家空き地対策に関して

問 空き地対策への施策は

答 経済部長 今後、空き地等の増加が予想されるので、指導及び

助言等ができる条例等の制定も視野に入れ、検討を進めていきたいと思っています。

問 相続登記促進への施策は

答 市長 手間をできるだけ軽減するためには、ワンストップの窓口になるようにするべきだとの考え方があります。1つの窓口で横串を入れられるような展開になるよう、検討していきたいと思っています。

公園管理について

問 公園の管理はどのようになっているのか

答 市長 公園の種類ごとに市が直接管理するもの、指定管理者が管理するもの、行政区や地元有志の方々が管理するものなどがありますが、年間を通じ除草、剪定作業や清掃等を行い、子供たちが安全で快適に遊べる公園環境を維持するため、遊具や休息施設の定期的な点検などに努めています。

問 子供の遊べる公園は幾つぐらいあるのか

答 建設部長 遊具が設置されている公園は現在12カ所あります。児童公園9カ所と吉川農村公園、羽黒山公園、小牧板峰公園です。

道路管理について



大原 功坪 議員

問 市道(麻)1-15号線の現状は

答 建設部長 新宮地内の工事は、道路の一部拡幅及び拡幅に伴う土地改良区内のパイプラインの移設を実施しています。天掛地内の工事については、道路拡幅部分が蓮田となっており、土留めと盛土の工事を施工後、自然転圧の期間において排水構造物、舗装等の工事を実施するため、通常の改良舗装工事に比べ完成まで時間がかかっています。

問 盛土だけでも一気にできないか

答 建設部長 ご提案いただいた、まず基礎をとという施工方法についても、今後検討していきたいと思っています。

後期高齢者医療について

問 後期高齢者の人間ドックに対する助成の状況は

答 市民福祉部長 後期高齢者医療制度の被保険者に対して、人間ドック等の助成は検討してきましたが、実施には至っていません。今後は、脳ドックの検査等の一部助成について検討していきたいと思っています。



栗原 繁 議員

霞ヶ浦の環境保全

問 第26回環境自治体会議なめがた会議の概要、成果はどのようなものか

答 市長 基調講演や分科会などを経て、「なめがた会議宣言」が採択され、霞ヶ浦・北浦に代表される湖沼や河川などの保全活動を通じた水辺の保全と生物多様性保護、水質改善と経済活性化、水供給と防災、水に係る教育とパートナーシップの4つの取り組みを市民・事業者・行政がより連携を強固にし、進めていくことが決定されました。

霞ヶ浦の環境問題については、国、県並びに霞ヶ浦流域市町村、水資源機構等の関係機関が一体となり、水質浄化等の対策を実施していきます。今後も霞ヶ浦湖岸に位置する本市として、霞ヶ浦の水

質改善対策を積極的に進め、市民が安全で安心な持続可能な環境のもとで暮らせるまちづくりを進めていきます。

問 ふるさと応援寄附金の使途に新たに加えられる水辺周辺整備事業の具体的な使用例の構想は

答 企画部長 ふるさと応援寄附金の水辺周辺整備事業の内容は、水辺周辺にある行方市の優位性である水際線、この整備の中で、市の中で主要な項目について、ふるさと応援寄附金の賛同者の方々に同意いただいた寄附の中から、それを活用して整備を進めていきたいと考えています。

特に、SDGs（持続可能な開発目標）の原動力とした地方創生、強靱で環境に優しい魅力的なまちづくりをすることが求められており、その観点からもこの事業を取り入れていきたいと考えています。



小林 久 議員

新年度事業の取り組み

問 害獣キヨンの対策と対応予算

答 経済部長 平成17年6月に、外来生物法において、キヨンは特定外来生物に指定され、狩猟や輸入及び販売は原則禁止となり、生物多様性等への影響という大きな枠組みの中で、防除事業は重要な施策になる。対応策として、防除事業実施自治体への防除方法や被害状況など視察等を開催、検討し早目の対策を講じたい。

問 農業用ため池の維持管理と保全、補修策

答 経済部長 農業用ため池は市全体で110カ所あり、ため池台帳をもとに簡易な修繕は市が行っており、維持管理等は、地元また土地改良区等にお願ひしています。大規模改修が必要な箇所は、国・県等の補助事業を活用し、

今後計画的に改修を行っていきます。

問 道路維持に係わる土砂、落葉等の撤去と路面上の立木の対応

答 建設部長 地元区による土砂撤去等を行った場合、道路維持管理作業補助金として区に交付をしています。立木の対応について、道路法及び道路構造令で、道路を安全に通行するため、車道上空4.5m、歩道上空2.5mに障害となる物を置いてはならないと規定されています。樹木とはいえ個人の財産であり、公費で伐採することは法的に問題があります。地権者に適正な管理をお願いするとともに、区が主体的に行う伐採作業には、道路管理者としてできる限りの協力をしていきたい。

地方創生策

問 宅地への課税 減免策の審議状況（建物解体後の固定資産税）

答 市長 複数年の制度設計を行っていくため、平成31年度の固定資産税が確定したうえで税収の計算等を行い、例規等を改正していきたい。

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

行政視察の結果を報告いたします

《議会運営委員会》

委員長 岡田 晴雄

10月9～10日

●調布市議会改革検討代表者会議の内容と議会改革について

視察先…東京都 調布市
調布市議会では、テーマの決定や協議の中で提言や提案のとりまとめ方について、どのように提案され、協議、決定し、議員への周知をどのように進めていたのかを視察した。議会改革の取り組みの中で、調布市議会改革検討代表者会議を設置し協議をしているとのことでした。会議の進め方としてテーマや意見は先ず会派内で協議がされ、集約されたテーマや意見を調布市議会改革検討代表者会議の中でそれぞれ発言し、それを座長が座長案として取りまとめる。次に座長案を調布市議会改革検討代表者会議において協議検討して合意に至ったものから、速やかに実施しているとのことでした。議員への周知は議員全員を対象に報告会を開催し、周知徹底を図っているとのことでした。

●決算審査と事務事業評価の連動について

●決算審査の結果を次年度の予算編成に反映させる取り組み

視察先…東京都 多摩市
多摩市議会では、6月定例会に設置される予算決算特別委員会の各分科会で評価施策を決定し、その施策の中から事業を選定し、事業評価を行う。次に事業評価を基に施策評価を行い、評価を確定。議会は市長に議会の評価を提出し、次年度予算説明時に評価に対する行政側の意見を受け取る。その内容を分科会で協議し、予算決算特別委員会の中で質疑が行われているとのことでした。



《百里基地対策特別委員会》

委員長 栗原 繁

10月11～12日

●航空自衛隊基地の運用態様と現況視察

視察先…航空自衛隊小松基地
石川県 小松市
小松基地は、我が国が警戒に重きを置くべき、日本海側唯一の戦闘機部隊が所在する基地であり、対領空侵犯措置の任務を与えられ、国籍不明機の警戒にあたっているとのことでした。視察に際しては、基地の概要（歴史、環境、地域との関わり等）について説明を受け、基地内の施設及び救難隊の装備、飛行隊所属航空機についての視察及び詳細な説明を受けました。



●特定防衛施設周辺整備調整交付金及び再編関連訓練移転等交付金を活用した事業について

視察先…石川県 小松市
小松市は、石川県の加賀地域の中心的な役割を担うまちという位置づけであり、小松市役所の西側には小松基地が配置されています。小松市の人口の31%が騒音区域内で生活をしている状況とのことでした。また、小松基地は百里基地と同様に民衆との共用の基地となっており、防衛省補助金・交付金等の実績としては、昭和35年の小松基地開設から平成29年度までの58年間に1638億円を使用しているとのことでした。交付金の実績の特徴は、交通施設関連で、融雪装置や除雪車といったものがありました。また、不育治療補助や不妊治療補助など医療に関する事業にも活用しているとのことでした。小松市は、交付金の活用について、法令等の定める基準に従い、効率的に運用していました。

《広報委員会》

委員長 平野 和

11月8・9日

●議会の広報活動について

視察先・栃木県 栃木市
栃木市議会では議会だよりの発行について、編集体制、編集方法の説明を受けました。なかでも、独自の取り組みとして、写真アドバイザーとして2名を委嘱しており、写真の選考や写真の撮り方などに助言をいただいているとのことでした。また、モニターアンケートを実施し、紙面構成の参考としているなど、市民の中から紙面づくりに協力をお願いし、読んでいただく側の意見を取り入れ、より読んでもらえる紙面づくりを目指しており大変参考となりました。また、議会報告会や意見交換会の取り組みについても説明を受け、実施の仕方やルール作りの点でも参考となるところが多くありました。

●議会中継について

視察先・群馬県 渋川市

渋川市議会では、平成25年6月から開始している議会中継について視察を行いました。

議会中継導入の経過から運用状況について説明を受け、使用している機器等も見学させていただきました。設備の導入については低予算での導入を目指し努力した点や、中継開始後の視聴率の向上を目指しながらも、多くの方が議会に傍聴に来ていた点など、参考とするところがありました。また、録画配信の映像については、委託業者にて編集作業を行い、閉会後2週間以内に録画配信しているとのことでした。



《地方創生推進特別委員会》

委員長 宮内 守

11月12・13日

●地方創生の現状と取組

視察先・中央合同庁舎8号館

千代田区 永田町
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官補

佐 高野 伸 氏より、国の「地方創生の現状と取組」について、データを活用して日本の総人口の長期的推移と将来推計、人口の動向、加えて茨城県及び行方市の状況について講義を受けました。国の取り組みとして、総合戦略の中間年を迎え総点検を踏まえて、地方・東京圏の転出入均衡という基本目標をはじめとする各基本目標の達成を目指す、ライフステージに応じた地方創生の充実や強化に取り組んでいる様子が伺えた。多くの施策の事例紹介があったが、行方市の地域実情を改善する市民全体の発想が求められており真摯に活動していきたい。

●行方市の地方創生の検証と今後の方向性

視察先・衆議院第二議員会館

千代田区 永田町

「行方市の地方創生の検証と今後の方向性」について、市企画部長より説明を受けた。内容は、「総合戦略書」を中心とした市政運営体制について、行方市総合戦略実施計画、行方市公共施設再編に向けた展開プログラム、行方市経営戦略について、行方市総合戦略基本目標に向けての進捗度評価についての検証の確認を行った。二日間にわたる研修の中で、多くの課題が山積していることがわかった。今後は要・不要・改善などの提言をし、各常任委員会との連携を深め、限られた財源の中で持続可能な行方市の構築の為、努力していきたい。



広報委員会で議論いたしました。

議会だよりのご意見として、なめがたエリアテレビにて放送されている議会中継について「一般質問を放映している際に、発言者を映していますが、そのほかの議場内の様子が見えるように、議場全体の画像などを挟んではどうか」などの中継内容についてのご意見等をいただきました。

これらの中継についてのご意見等について、委員会にて、議論した結果、現状の放送設備環境等では、ご意見、ご要望にお応えできない現状ですが、放送設備の改修等も含めて、今後も検討してまいります。

今後も貴重なご意見をお待ちしています。

ちょっとひと言!!

市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



を果たしてもらえると期待しているのか、どうか市としても、この霞ヶ浦という大きな資産を活かすような展開を検討していただきたい。

(60代・男性)

●高齢者の免許返納をする方が年々増えている様である。私の近所の方も数人が返納されたと聞く。公共交通機関の少ない、特に鉄道機関の無い行方市にとって高齢者の病院の通院、買い物などに大変不便をかけている様で重要な課題である。交通弱者にも目を向け、返納者には一定期間、又は一回限りのタクシー無料券の配布などを考えていただきたと思う。更なる交通インフラの整備をお願いしたい。

(50代・男性)

●次回の市議選から定数削減をするとのこと。意味のないことかも知れませんが、平成の大合併をすすめ「指導助言」した国や県はどうでしょうか？

県は区割りの見直しで僅か1名の減、国は先の通常国会で6名の増員、割り切れない思いです。

隣接する自治体との比較、財政効果等の観点から止むを得ないのかも知れませんが、削減により多種多様な意見や少数の意見が「削減」される事のない様にお願致します。削減により議員の責任は大きくなります。今後とも侃々諤々とした議論

(50代・男性)

●行方市の資産といえば、霞ヶ浦だと思う。しかし、現在は、その重要な資産を活かしきれていない。水質の改善はもちろんだが、観光資源として大きな可能性を秘めており、市のアピール、観光客の増加に重要な役割

の場が創出されることを期待しています。

(60代・男性)

●高校まで行方に住んでいて、大学進学で4年間地元を離れていました。友人に、行方市には何かあるのと聞かれても、何と答えていいのかわからない感じでした。働く場所が少ないのも問題だと思うし、若い人が集う所も無いと思います。自然豊かな地域なのでスポーツ施設をもっと造ってもらえたらいいと思います。あと霞ヶ浦がもっと綺麗な湖になれば、他から多くの人にも来てくれるし、住んでいられる人も、もっと豊かな気持ちになれると思います。

(20代・男性)

●なめがたエリアテレビが開始され、各地域の祭りやスポーツ、音楽イベント等行方市や県内外の情報がたくさん放送されています。奈良崎正明さんの司会で、カラオケも大変楽しく見させて頂いております。銚田市の一部でも視聴できるそうですが、市内では、まだ視聴できない地域があるようです。最初の予定より大分遅れて予算もかかると思いますが、指導する職員が足りなければ、業者に依頼するなり市民全員が視聴できるようにお願いします。

(70代・女性)

スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

※ デジタルブックの配信は発行日の10日後となります。

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読めます。
- 9言語で読めます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

※ブラウザは音声読み上げに対応していません。

音声読み上げには無料アプリ（カタポケ）のインストールが必要です。

無料アプリ
『カタポケ』
このアイコン
が目印 →



行方市に視察に来訪されました



秋田県 ^{おが}男鹿市議会 教育厚生委員会（6名、1月22日）
学校等適正配置計画策定の経緯及び学校統廃合完了までの歩みについて

今後ますますの発展をご祈念いたします。

行方市議会情報を、市公式ホームページに掲載しています。

ホームページでは、過去の「行方市議会だより」も見るができます。

また、本会議の日程等をメールマガジンで配信しています。

<http://www.city.namegata.ibaraki.jp/>



傍聴してみませんか

次の定例会は
「平成31年 第1回 定例会」
2月22日（金） 開会の予定です

22日（金） 開会、議案の上程
26日（火） 一般質問
27日（水） 一般質問
28日（木） 一般質問

○傍聴席は44席（先着順）
○事前の申し込みは不要です。
○詳しい日程は、市議会ホームページでご案内しています。
○ご不明な点は、議会事務局
（☎0299-551011）へ
お問い合わせください。

広報委員会

委員長 平野 和
副委員長 阿部 孝太郎
委員 鈴木 俊幸
〃 貝 塚 利雄
〃 小野瀬 忠雄
〃 河野 俊雄

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



議会トピックス

～議会日誌～

11月

- 2日 政経懇話会視察会
- 5日 港湾視察事業（～6日）
茨城100Kウルトラマラソン実行委員会
- 8日 広報委員会行政視察（～9日）
- 9日 代替税財源なき車体課税の減税要求
に対して自動車税の根幹堅持等を求
める要望活動
TX茨城空港延伸議会期成同盟会要望活動
- 12日 地方創生推進特別委員会行政視察（～13日）
- 14日 全国市議会議長会研究フォーラム（～15日）
- 16日 県市議会議長会県要望活動
4団体連絡会議
- 19日 県市議会議長会正副会長会議
県市議会議長会第1回議員研修会（～20日）
- 21日 行方市議会活性化特別委員会
- 22日 県東市議会議長会定例会
- 27日 議会運営委員会
全員協議会

12月

- 4日 議会運営委員会
第4回定例会開会
広報委員会
- 6日 議会運営委員会
- 11日 予算特別委員会
- 12日 総務委員会
茨城国体行方市実行委員会総会
茨城国体行方市開催競技300日前記念イベント
- 14日 経済建設委員会
- 17日 予算特別委員会
全員協議会
- 20日 議会運営委員会
第4回定例会閉会

1月

- 8日 第69回千鳥会
- 9日 広報委員会
- 12日 行方市消防出初式
- 13日 平成31年行方市成人式
- 18日 広報委員会
- 21日 茨城県市議会議長会正副会長会、理
事会、定例会（～22日）
- 22日 秋田県男鹿市議会 行政視察来訪
- 23日 茨城県東市議会議長会行政視察（～24日）